

2017年1月4日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報(2017年第2号)

年末年始の邦人被害

リオ州文民警察から、邦人観光客の犯罪被害について以下の通り報告されています。

① 強盗事件

12月29日(木)午後2時頃、邦人男性がリオ市ラパ地区のカテドラル(大聖堂)付近(チリ通り(AV. Onile))を歩いていたところ、5、6人の若者に囲まれ、うち一人からナイフを突きつけられて、所持品を渡すよう要求された。被害者がスマートフォン、現金等を渡したところ、犯人らはその場から立ち去った。

② 強盗事件

12月31日(土)午後2時頃、邦人男性がリオ市内ラパ地区の水道橋前広場を歩いていたところ、4人の若者に囲まれ、うち一人からナイフを突きつけられて、所持していたバッグ(財布、スマートフォン、時計等在中)を渡すよう脅され、そのままバッグを持ち去られた。被害者はその際、指先に擦り傷を負ったが軽傷。

③ 窃盗事件

1月1日(日)午前0時頃、邦人女性がリオ市コパカバーナ海岸のアトランチカ通り(Prado Junior通りとの交差点付近)において、ヘベイリオン(年越し花火大会)を見物していたところ、所持していたスマートフォンがすり取られていることに気付いた。

④ 窃盗事件

1月1日(日)午後10時頃、邦人男性がリオ市コパカバーナ地区のアトランチカ通りを歩いていたところ、後方から自転車に乗った男が猛スピードで近づいてきた後、被害者が所持していたバッグ(現金、スマートフォン等在中)を引ったくり、そのまま逃走した。

【当館から】

- 当館治安情報(2016年第53号)でもお知らせしているとおり、旧市街に位置するラパ地区の特にカテドラル、水道橋付近は当地有数の観光地ですが、特に日中、邦人が複数人に囲まれて強盗被害に遭うケースが後を絶ちません。
- 外出する際は、華美な服装は避け、なるべく軽装で歩きましょう。
- 万が一強盗に遭ってしまった場合は、決して抵抗せず、素直に相手の要求に応じて下さい。